

福井県後期高齢者医療広域連合告示第26号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成19年条例第19号）第3条第2項の規定に基づき、令和6年4月1日から令和6年9月30日までの財政状況及び令和5年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

令和6年12月20日

福井県後期高齢者医療広域連合長 西行 茂

1 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 令和6年度一般会計（令和6年9月30日現在）

【歳入】 (単位：円、%)

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 分担金及び負担金	618,752,000	309,374,000	50.0
2 国庫支出金	429,000	0	0.0
4 繰越金	1,000	55,410,949	5541094.9
5 諸収入	365,000	129,082	35.4
合計	619,547,000	364,914,031	58.9

【歳出】 (単位：円、%)

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 議会費	1,494,000	32,740	2.2
2 総務費	157,060,000	72,874,560	46.4
3 民生費	458,992,000	0	0.0
4 諸支出金	1,000	0	0.0
5 予備費	2,000,000	0	0.0
合計	619,547,000	72,907,300	11.8

(2) 令和6年度後期高齢者医療特別会計（令和6年9月30日現在）

【歳入】

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 市町支出金	21,807,984,000	7,433,292,053	34.1
2 国庫支出金	37,586,300,000	22,153,662,000	58.9
3 県支出金	10,043,047,000	5,733,334,000	57.1
4 支払基金交付金	44,859,331,000	18,812,199,687	41.9
5 特別高額医療費共同事業交付金	54,078,000	0	0.0
6 財産収入	50,000	10,616	21.2
8 繰入金	1,023,132,000	0	0.0
9 繰越金	20,000,000	1,949,910,692	9749.6
10 県財政安定化基金借入	0	0	-
11 諸収入	101,603,000	40,482,252	39.8
合計	115,495,525,000	56,122,891,300	48.6

【歳出】

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 総務費	477,593,000	138,600,354	29.0
2 保険給付費	114,466,791,000	46,622,204,953	40.7
4 特別高額医療費共同事業拠出金	76,435,000	0	0.0
6 保健事業費	426,504,000	13,184,724	3.1
7 基金積立金	50,000	10,616	21.2
8 公債費	1,000	0	0.0
9 諸支出金	28,151,000	13,685,079	48.6
10 予備費	20,000,000	0	0.0
合計	115,495,525,000	46,787,685,726	40.5

2 財産、地方債及び一時借入金の概況

(1) 財産

- ①公有財産 令和6年9月30日現在所有なし
- ②基金 令和6年9月30日現在高
療養給付費等準備基金 1,952,925,664円
- ③債権 500,000,000円

(2) 地方債 令和6年9月30日現在借入なし

(3) 一時借入金 令和6年9月30日現在借入なし

3 令和5年度の決算の概況

(1) 一般会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

(第1表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	509,986,847	509,538,244	448,603	0.1
歳出	454,575,898	462,710,290	△8,134,392	△1.8
差引	55,410,949	46,827,954	8,582,995	18.3

(第1表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	執行率 B/A
歳入	516,334,000	509,986,847	98.8
歳出	516,334,000	454,575,898	88.0

令和5年度の決算額は、歳入5億998万6,847円、歳出4億5,457万5,898円で、歳入歳出差引額は5,541万949円となった。この差引額は、剰余金として令和6年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ、98.8%と88.0%となった。

②歳入の状況

(第2表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 分担金及び負担金	462,583,000	90.7	476,347,000	△13,764,000	△2.9
2 国庫支出金	380,171	0.1	248,000	132,171	53.3
4 繰越金	46,827,954	9.2	32,879,959	13,947,995	42.4
5 諸収入	195,722	0.0	63,285	132,437	209.3
合計	509,986,847	100.0	509,538,244	448,603	0.1

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第2表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と 決算額との比 較C-A
1 分担金及び負担金	468,819,000	462,583,000	462,583,000	0	△6,236,000
2 国庫支出金	422,000	380,171	380,171	0	△41,829
4 繰越金	46,827,000	46,827,954	46,827,954	0	954
5 諸収入	266,000	195,722	195,722	0	△70,278
合計	516,334,000	509,986,847	509,986,847	0	△6,347,153

令和5年度の歳入決算額は、5億998万6,847円で、前年度決算額と比較して44万8,603円、率にして0.1%の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が4億6,258万3,000円、繰越金が4,682万7,954円となっている。

前年度決算額と比較した主な要因は、分担金及び負担金が1,376万4,000円減額となったが、繰越金が1,394万7,995円増額となったことによるものである。

③歳出の状況

(第3表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 議会費	721,682	0.2	722,453	△711	△0.1
2 総務費	140,949,134	31.0	142,261,268	△1,312,134	△0.9
3 民生費	266,078,082	58.5	286,846,610	△20,768,528	△7.2
4 諸支出金	46,827,000	10.3	32,879,959	13,947,041	42.4
5 予備費	0	0	0	0	—
合 計	454,575,898	100.0	462,710,290	△8,134,392	△1.8

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第3表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 議会費	1,478,000	721,682	756,318	48.8
2 総務費	159,005,000	140,949,134	18,055,866	88.6
3 民生費	307,024,000	266,078,082	40,945,918	86.7
4 諸支出金	46,827,000	46,827,000	0	100.0
5 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
合 計	516,334,000	454,575,898	61,758,102	88.0

令和5年度の歳出決算額は、4億5,457万5,898円で、前年度決算額と比較して813万4,392円、率にして1.8%減少した。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が72万1,682円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が1億4,094万9,134円、特別会計への繰出金である民生費が2億6,607万8,082円、市町への償還金である諸支出金が4,682万7,000円となった。また、予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、総務費が131万2,134円減額、民生費が2,076万8,528円減額となったことによるものである。

(2) 後期高齢者医療特別会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

(第4表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	113,047,027,759	109,500,777,959	3,546,249,800	3.2
歳出	111,097,117,067	107,371,635,058	3,725,482,009	3.5
差引	1,949,910,692	2,129,142,901	△179,232,209	△8.4

(第4表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	執行率 B/A
歳入	112,512,925,000	113,047,027,759	100.5
歳出	112,512,925,000	111,097,117,067	98.7

令和5年度の決算額は、歳入1,130億4,702万7,759円、歳出1,110億9,711万7,067円で、歳入歳出差引額は19億4,991万0,692円となった。この差引額は、剰余金として令和6年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ100.5%と98.7%となった。

②歳入の状況

(第5表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 市町支出金	20,663,632,428	18.2	19,687,937,751	975,694,677	5.0
2 国庫支出金	36,409,094,282	32.2	35,411,975,928	997,118,354	2.8
3 県支出金	9,385,793,124	8.3	8,794,606,610	591,186,514	6.7
4 支払基金交付金	43,974,731,000	38.9	41,979,525,000	1,995,206,000	4.8
5 特別高額医療費 共同事業交付金	56,769,573	0.1	38,461,499	18,308,074	47.6
6 財産収入	27,122	0.0	28,711	△1,589	△5.5
8 繰入金	307,578,082	0.3	598,259,610	△290,681,528	△48.6
9 繰越金	2,129,142,901	1.9	2,779,536,225	△650,393,324	△23.4
11 諸収入	120,259,247	0.1	210,446,625	△90,187,378	△42.9
合計	113,047,027,759	100.0	109,500,777,959	3,546,249,800	3.2

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第5表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額と決 算額との比較 C-A
1 市町支出金	20,685,836,000	20,663,632,428	20,663,632,428	0	0	△22,203,572
2 国庫支出金	36,101,230,000	36,409,094,282	36,409,094,282	0	0	307,864,282
3 県支出金	9,404,223,000	9,385,793,124	9,385,793,124	0	0	△18,429,876
4 支払基金交付金	43,813,701,000	43,974,731,000	43,974,731,000	0	0	161,030,000
5 特別高額医療費 共同事業交付金	28,565,000	56,769,573	56,769,573	0	0	28,204,573
6 財産収入	50,000	27,122	27,122	0	0	△22,878
8 繰入金	348,525,000	307,578,082	307,578,082	0	0	△40,946,918
9 繰越金	2,129,142,000	2,129,142,901	2,129,142,901	0	0	901
10 県財政安定化 基金借入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
11 諸収入	1,652,000	128,971,688	120,259,247	39,480	8,672,961	118,607,247
合計	112,512,925,000	113,055,740,200	113,047,027,759	39,480	8,672,961	534,102,759

令和5年度の歳入決算の総額は、1,130億4,702万7,759円で、前年度決算額と比

較して 35 億 4,624 万 9,800 円、率にして 3.2%の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が 206 億 6,363 万 2,428 円、国庫支出金が 364 億 909 万 4,282 円、県支出金が 93 億 8,579 万 3,124 円、支払基金交付金が 439 億 7,473 万 1,000 円、繰入金が 3 億 757 万 8,082 円、繰越金が 21 億 2,914 万 2,901 円となっている。収入未済額は諸収入において 867 万 2,961 円発生し、不納欠損額は 3 万 9,480 円となった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、市町、国、県からの支出金、及び支払基金の交付金が増額となったことによるものである。

③歳出の状況

(第6表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 総務費	280,917,236	0.3	340,428,687	△59,511,451	△17.5
2 保険給付費	108,240,139,311	97.4	103,919,899,482	4,320,239,829	4.2
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	51,369,868	0.0	48,378,680	2,991,188	6.2
5 保健事業費	307,037,495	0.3	261,164,809	45,872,686	17.6
6 基金積立金	950,482,941	0.9	414,382,321	536,100,620	129.4
7 公債費	0	0.0	0	0	0.0
8 諸支出金	1,267,170,216	1.1	2,387,381,079	△1,120,210,863	△46.9
9 予備費	0	0.0	0	0	0.0
合 計	111,097,117,067	100.0	107,371,635,058	3,725,482,009	3.5

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第6表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 総務費	320,450,000	280,917,236	39,532,764	87.6
2 保険給付費	109,508,182,000	108,240,139,311	1,268,042,689	98.8
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	58,620,000	51,369,868	7,250,132	87.6
5 保健事業費	388,484,000	307,037,495	81,446,505	79.0
6 基金積立金	950,500,000	950,482,941	17,059	100.0
7 公債費	1,000	0	1,000	0.0
8 諸支出金	1,267,210,000	1,267,170,216	39,784	100.0
9 予備費	19,388,000	0	19,388,000	0.0
合 計	112,512,925,000	111,097,117,067	1,415,807,933	98.7

令和5年度の歳出決算の総額は、1,110億9,711万7,067円で、前年度決算額と比較して37億2,548万2,009円、率にして3.5%の増となった。

歳出の決算額の内訳をみると、被保険者証交付や電算処理業務委託料等の事務的経費として、総務費が2億8,091万7,236円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、審査支払手数料等の保険給付費が1,082億4,013万9,311円、市町が実施する健康診査事業への補助金等の保健事業費が3億703万7,495円、保険料還付金や国・県・市町等に対する償還金等の諸支出金が12億6,717万216円となった。また、公債費及び予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、保険給付費が増額となったことによるものである。